ドライブ

ユーザ ガイド

© Copyright 2010 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2010 年 1 月

製品番号：606078-291

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1 取り付けられているドライブの確認

コンピュータに取り付けられているドライブを表示するには、**[スタート]→[コンピューター]**の順に選択します。

注記： Windows®には、コンピュータのセキュリティを高めるためのユーザ アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

2 ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいコンピュータ部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：** コンピュータやドライブの損傷、または情報の損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

外付けハードドライブに接続したコンピュータをある場所から別の場所へ移動させるような場合は、事前にスリープを開始して画面表示が消えるまで待つか、外付けハードドライブを適切に取り外してください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはコンピュータのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピュータの電源を切ります。コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

オプティカル ドライブ 内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

バッテリのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前に、バッテリが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使ってチェックを行うので、ドライブには影響しません。

3　オプティカル ドライブの使用（一部のモデルのみ）

取り付けられているオプティカル ドライブの確認

▲ **[スタート]**→**[コンピューター]**の順に選択します。

コンピュータに取り付けられているオプティカル ディスク ドライブの種類が表示されます。

オプティカル ディスク（CD、DVD、および BD）の使用

DVD-ROM ドライブなどのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD、DVD、および BD）に対応しています。これらのディスクは、音楽、写真、動画などの情報を保存します。DVD および BD は、CD より大きい容量を扱うことができます。

オプティカル ドライブでは、標準的な CD や DVD のディスクの読み取りができます。オプティカル ドライブがブルーレイ ディスク（BD）ドライブである場合は、BD を読み取ることもできます。

注記： ここに示すオプティカル ドライブによっては、お使いのコンピュータでサポートされていない場合もあります。サポートされているオプティカル ドライブすべてが下記の一覧に記載されているわけではありません。

以下の表に示すように、一部のオプティカル ドライブでは、オプティカル ディスクへの書き込みもできます。

オプティカル ドライブの種類	CD-RW への書き込み	DVD への書き込み*	LightScribe CD または DVD へのラベルの書き込み	BD-R/RE への書き込み
DVD-ROM/CD-RW コンボ ドライブ	可	不可	不可	不可
LightScribe スーパーマルチ DVD ±RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）	可	可	不可	不可
LightScribe スーパーマルチ DVD ±RW ドライブ（2 層記録（DL）対応）	可	可	可	不可
BD ROM DVD±RW スーパー マルチ ドライブ（2 層記録（DL）対応）	可	可	不可	不可
BD R/RE DVD±RW スーパー マルチ ドライブ（2 層記録（DL）対応）	可	可	不可	可
*DVD への書き込み（DVD+R DL、DVD±RW/R および DVD-RAM メディアを含む）				

正しいディスクの選択（CD、DVD、および BD）

オプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD、DVD、および BD）に対応しています。CD はデジタル データの保存に使用されますが、商業用のオーディオ録音にも使用されています。また、データの保管先として個人的にも使用できます。DVD および BD は、主に動画やソフトウェア、データのバックアップのために使用します。DVD および BD は CD と同じ形態ですが、CD よりはるかに大きい容量を扱うことができます。

注記： お使いのコンピュータに取り付けられているオプティカル ドライブによっては、この項目で説明している一部のオプティカル ディスクに対応していない場合もあります。

CD-R ディスク

CD-R（追記型）ディスクを使用して永続的なアーカイブを作成し、誰とでもファイルを共有できます。通常は、以下の用途で使用します。

- 大きなプレゼンテーションの配布
- スキャンしたデジタル写真、ビデオ クリップ、および書き込みデータの共有
- 独自の音楽 CD の作成
- コンピュータのファイルやスキャンした記録資料などを永続的なアーカイブとして保存
- ファイルを移動してハードドライブを解放し、ディスクの空き領域を増やす

データを記録した後は、データの削除や上書きができません。

CD-RW ディスク

CD-RW ディスク（再書き込み可能な CD）を使用すると、頻繁に更新する必要のある大きなプロジェクトを保存できます。通常は、以下の用途で使用します。

- 大きな文書やプロジェクト ファイルの展開と保存
- 作業ファイルの運搬
- ハードドライブ ファイルの週次バックアップの作成
- 写真、動画、オーディオ、およびデータの連続更新

DVD±R ディスク

DVD±R ディスクは、大量の情報を恒久的に保存するときに使用します。データを記録した後は、データを削除したり追加で書き込んだりすることはできません。

DVD±RW ディスク

以前に保存したデータの削除や上書きをする必要がある場合は、DVD+RW ディスクを使用します。このディスクは、データ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前のオーディオまたはビデオ録画のテストに最適です。

LightScribe DVD+R ディスク

LightScribe DVD+R ディスクは、データ、ホーム ビデオ、および写真を共有または保存するときに使用します。このディスクはほとんどの DVD-ROM ドライブやセットトップ DVD ビデオ プレーヤで読

み取ることができます。LightScribe が有効なドライブと LightScribe ソフトウェアを使用すると、ディスクにデータを書き込むだけでなく、ディスクの外側にラベルをデザインして追加することもできます。

ブルーレイ ディスク（BD）

BD は、HD 対応動画などのデジタル情報を保存するための高密度オプティカル ディスク フォーマットです。1 枚の 1 層式 BD で 25 GB まで保存でき、これは 4.7 GB の 1 層式 DVD の 5 倍以上です。2 層式の BD では 1 枚で 50 GB まで保存でき、これは 8.5 GB の 2 層式 DVD の 6 倍近くになります。

通常は、以下の用途で使用します。

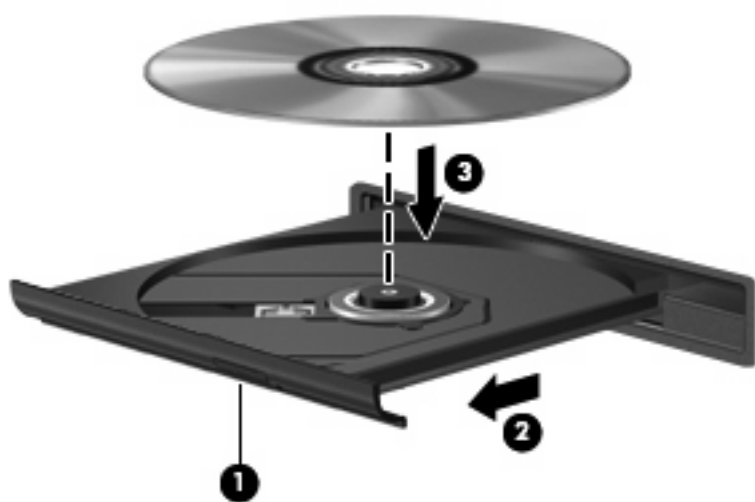
- 大量データの保存
- HD 対応動画
- ビデオ ゲーム

注記： ブルーレイは新しい技術を採用した新しいフォーマットのため、ディスク、デジタル接続、互換性、およびパフォーマンスに関する問題が発生する可能性がありますが、製品自体の欠陥ではありません。すべてのシステムで問題なく再生できるという保証はありません。

CD、DVD または BD の再生

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

   注記： ディスク トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまで、ディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。

6. ディスク トレイを閉じます。

自動再生の動作を設定していない場合は、以下の項目で説明しているように、[自動再生]ダイアログ ボックスが開きます。メディアのコンテンツ（内容）をどのように扱うかについての選択を求められます。

注記： 最適な状態で使用するため、BD の再生中は AC アダプタを外部電源に接続していることを確認してください。

自動再生の設定

1. **[スタート]→[既定のプログラム]→[自動再生の設定の変更]**の順に選択します。
2. **[すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う]**チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. **[既定を選択する]**をクリックして、表示されている各メディアの種類に対して使用可能なオプションの 1 つを選択します。
4. **[保存]**をクリックします。

注記： 自動再生について詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

著作権に関する警告

コンピュータ プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピュータをそのような目的に使用しないでください。

△ **注意：** 情報の損失やディスクの損傷を防ぐために、以下のガイドラインを参考にしてください。

ディスクに書き込む前に、コンピュータを安定した外部電源に接続してください。コンピュータがバッテリ電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用するディスク ソフトウェア以外で開いているすべてのプログラムを閉じます。

コピー元のディスクからコピー先のディスクに、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクに直接コピーしないでください。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使ったり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

注記： コンピュータに付属しているソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ディスクに収録されていたり、ソフトウェアのヘルプに含まれていたり、またはソフトウェアの製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

CD、DVD または BD のコピー

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[Roxio]**（ロキシオ）→**[Creator Business]**（クリエイタ ビジネス）の順に選択します。

   注記： [Roxio]を使用するのが初めての場合は、この処理を完了する前にプログラムの使用許諾契約に同意する必要があります。

2. 右側のパネルで、**[ディスクのコピー]**をクリックします。
3. コピーするディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
4. 画面右下の**[ディスクのコピー]**をクリックします。

   コピー元のディスクが読み取られ、そのデータがハードドライブの一時フォルダにコピーされます。

5. 指示が表示されたら、コピー元のディスクをオプティカル ドライブから取り出して、空のディスクをドライブに挿入します。

   データがコピーされると、自動的にトレイが開いて作成したディスクが出てきます。

注記： BD への書き込み中はコンピュータを動かさないでください。

CD、DVD、または BD の作成または「書き込み」

△ **注意：** 著作権に関する警告に従ってください。コンピュータ プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピュータをそのような目的に使用しないでください。

お使いのコンピュータに CD-RW、DVD-RW、DVD±RW、または BD R/RE のオプティカル ドライブが搭載されている場合は、[Windows Media Player]または[Roxio Creator Business]などのソフトウェアを使用して、MP3 や WAV 音楽ファイルなどのデータやオーディオ ファイルを書き込むことができます。

CD、DVD、または BD に書き込むときは、以下のガイドラインを参考にしてください。

- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて終了し、すべてのプログラムを閉じます。
- CD-R や DVD-R は、情報をコピーした後は変更できないため、通常はオーディオ ファイルの書き込みに最適です。
- 家庭のステレオやカー ステレオによっては CD-RW を再生できないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- CD-RW や DVD-RW は、一般的にはデータ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録をテストする場合に最適です。
- 通常、家庭用のシステムで使用される DVD プレーヤは、すべての DVD フォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、お使いの DVD プレーヤに付属している製造元の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイル形式よりファイルのサイズが小さく、MP3 ディスクを作成するプロセスはデータ ファイルを作成するプロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピュータでのみ再生できます。
- BD への書き込み中はコンピュータを動かさないでください。

CD、DVD、または BD にデータを書き込むには、以下の操作を行います。

1. 書き込み元のファイルを、ハードドライブのフォルダにダウンロードまたはコピーします。
2. 空のディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
3. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するソフトウェアの名前を選択します。
4. 作成するディスクの種類（データ、オーディオ、またはビデオ）を選択します。
5. **[スタート]**を右クリックしてから**[エクスプローラーを開く]**をクリックし、元のファイルを保存したフォルダに移動します。
6. フォルダを開き、空のオプティカル ディスクのあるドライブにファイルをドラッグします。
7. 選択したプログラムの説明に沿って書き込み処理を開始します。

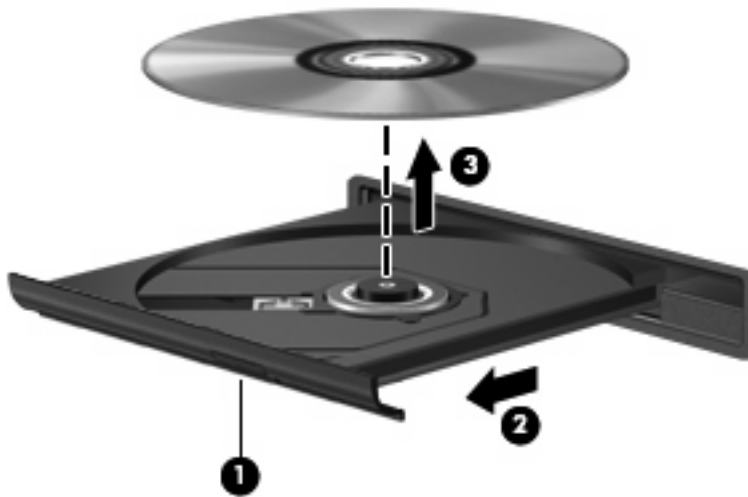
手順について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

CD、DVD または BD の取り出し

ディスク トレイが正しく開くかどうかに応じて、ディスクを取り出す方法は 2 通りあります。

ディスク トレイが開く場合

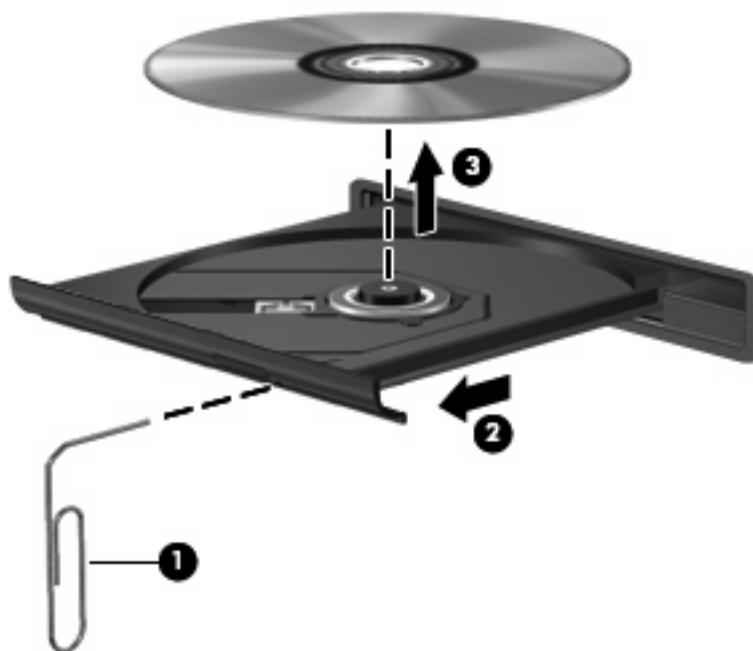
1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してディスク トレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します（**2**）。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。

3. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

ディスク トレイが開かない場合

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ（**1**）の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します（**2**）。

3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。

4. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

再生の中断の予防

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- CD または DVD を再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認します。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクは中央から端の方に向かって拭いてください。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、一般の電器店や CD ショップなどで入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで修復を試みることもできます。
- ディスクを再生する前にスリープ モードを無効にします。

  ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始しないでください。開始する場合、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。[いいえ]をクリックすると以下のようになります。

  ◦ 再生が再開します。

  または

  ◦ マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してからの再起動が必要になることもあります。
- システムのリソースを増やします。

  プリンタやスキャナなどの外付けデバイスの電源を切ります。これによってシステム リソースが解放され、再生パフォーマンスが向上されます。
- デスクトップの色のプロパティを変更します。16 ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないため、以下の方法でシステムの色のプロパティを 16 ビットの色に下げても、動画の再生時の色の違いは気にならないでしょう。

  1. デスクトップの空いている場所を右クリックして、**[画面の解像度]**を選択します。
  2. **[詳細設定]→[モニター]**タブの順に選択します。
  3. 設定がまだされていない場合は、**[中 (16 ビット)]**をクリックします。
  4. **[OK]**をクリックします。

DVD の地域設定の変更

著作権で保護されたファイルが含まれているほとんどの DVD には、地域コードも含まれています。地域コードは、世界的なレベルで著作権を保護します。

DVD の地域コードが、お使いの DVD ドライブの地域設定と一致する場合にのみ、その地域コードが含まれている DVD を再生できます。

△ **注意：** DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域設定が、DVD ドライブの最終的な地域設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域]タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[システムとセキュリティ]**の順に選択します。次に、**[システム]**領域で**[デバイス マネージャー]**をクリックします。

   注記： Windows には、コンピュータのセキュリティを高めるためのユーザ アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

2. **[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横の矢印をクリックして一覧を展開し、取り付けられているドライブをすべて表示します。
3. 地域設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、次に**[プロパティ]**をクリックします。
4. **[DVD 地域]**タブをクリックして、設定を変更します。
5. **[OK]**をクリックします。

4　外付けドライブの使用

外付けのリムーバブル ドライブを使用すると、情報を保存したり、情報にアクセスしたりできる場所が拡大されます。USB ドライブを追加するには、コンピュータまたは別売のドッキング デバイスの USB コネクタに接続します。

USB ドライブには、以下のような種類があります。

- 1.44 MB フロッピー ディスク ドライブ
- ハードドライブ モジュール（アダプタを装備したハードドライブ）
- DVD-ROM ドライブ
- DVD-ROM/CD-RW コンボ ドライブ
- DVD+RW および CD-RW コンボ ドライブ
- DVD±RW および CD-RW コンボ ドライブ

注記：　必要なソフトウェアやドライバ、および使用するコンピュータのコネクタの種類について詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。

外付けドライブをコンピュータに接続するには、以下の操作を行います。

注意：　装置が損傷することを防ぐため、別電源が必要なドライブを接続するときは、ドライブの電源コードを差し込んでいないことを確認してください。

1. ドライブをコンピュータに接続します。
2. 別電源が必要なドライブを接続した場合は、ドライブの電源コードを、接地した外部電源のコンセントに差し込みます。
3. デバイスの電源を入れます。

別電源が必要な外付けドライブを取り外すときは、ドライブの電源を切り、コンピュータからドライブを取り外した後、ドライブの外部電源コードを抜きます。

5 [HP 3D DriveGuard]の使用

[HP 3D DriveGuard]は、以下のどちらかの場合にドライブおよび入出力要求を停止することによって、ハードドライブを保護します。

- バッテリ電源で動作しているときにコンピュータを落下させた場合
- バッテリ電源で動作しているときにディスプレイを閉じた状態でコンピュータを移動した場合

これらの動作の実行後は[HP 3D DriveGuard]によって、短時間でハードドライブが通常の動作に戻ります。

注記： オプションのドッキング デバイスに装着されているハードドライブや USB コネクタで接続されているハードドライブは、[HP 3D DriveGuard]では保護されません。

ソリッドステート ドライブには回転する部分がないため、[HP 3D DriveGuard]で保護する必要はありません。

詳しくは、[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP 3D DriveGuard]の状態の確認

コンピュータのドライブ ランプがオレンジ色に変化して、ドライブが停止していることを示します。ドライブが現在保護されているか、または停止しているかを確認するには、**[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Windows モビリティ センター]**の順に選択します。

- ソフトウェアが有効の場合、緑色のチェック マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ソフトウェアが無効の場合、赤色の X がハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ドライブが停止している場合、黄色の月型マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。

注記： [モビリティセンタ]のアイコンは、ドライブの最新の状態を示していない場合があります。状態が変更されたらすぐに表示に反映されるようにするには、通知領域のアイコンを有効にする必要があります。

通知領域のアイコンを有効にするには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP 3D DriveGuard]**の順に選択します。

   注記： [ユーザー アカウント制御]のウィンドウが表示されたら、**[はい]**をクリックします。

2. **[システム トレイ上のアイコン]**の行で、**[表示]**をクリックします。
3. **[OK]**をクリックします。

[HP 3D DriveGuard]によってドライブが停止された場合、コンピュータは以下の状態になります。

- シャットダウンができない
- 次に示す場合を除いて、スリープまたはハイバネーションを開始できない

  注記： [HP 3D DriveGuard]によってドライブが停止されたときでも、コンピュータがバッテリ電源で動作しているときに完全なロー バッテリ状態になると、ハイバネーションを開始できるようになります。

コンピュータを移動する前に、完全にシャットダウンさせるか、スリープまたはハイバネーションを開始することをおすすめします。

[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアの使用

[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアを使用することで、以下のことが行えます。

- [HP 3D DriveGuard]の有効/無効を設定する。

注記： ユーザの権限によっては、[HP 3D DriveGuard]の有効/無効を切り替えられない場合があります。なお、Administrator グループのメンバは Administrator 以外のユーザの権限を変更できます。

- システムのドライブがサポートされているかどうかを確認する。

ソフトウェアの起動または設定の変更を行うには、以下の操作を行います。

1. モビリティ センタでハードドライブ アイコンをクリックして、[HP 3D DriveGuard]ウィンドウを開きます。

   または

   [スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP 3D DriveGuard]の順に選択します。

注記： [ユーザー アカウント制御]のウィンドウが表示されたら、**[はい]**をクリックします。

2. 適切なボタンをクリックして設定を変更します。
3. **[OK]**をクリックします。

6 RAID のサポート

このコンピュータは、データを複数のシリアル ATA（SATA）ハードドライブに保存できる RAID（Redundant Array of Independent Disks）と呼ばれる技術に対応しています。詳しくは、RAID のユーザ ガイドを参照してください。ユーザ ガイドにアクセスするには、**[スタート]→[ヘルプとサポート]→[ユーザ ガイド]**の順にクリックします。一部のモデルに付属している『User Guides』（ユーザ ガイド）ディスクにも収録されています。

7　ハードドライブ パフォーマンスの向上

[ディスク デフラグ]の使用

コンピュータを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。[ディスク デフラグ]を行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダを集めてより効率よく作業を実行できるようになります。

[ディスク デフラグ]を実行するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ]**の順に選択します。
2. **[ディスクの最適化]**をクリックします。

注記：　Windows には、コンピュータのセキュリティを高めるためのユーザ アカウント制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、アクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows のオンライン ヘルプを参照してください。

詳しくは、[ディスク デフラグ]のヘルプを参照してください。

[ディスク クリーンアップ]の使用

[ディスク クリーンアップ]を行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

[ディスク クリーンアップ]を実行するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]**の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

8　ハードドライブの交換

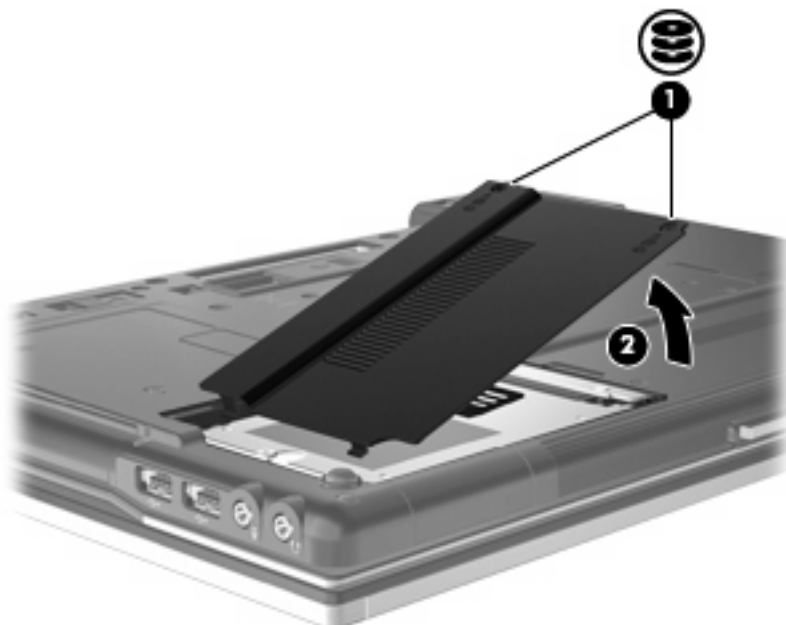
△ **注意：**　データの消失やシステムの応答停止を防ぐには、以下の操作を行います。

ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピュータをシャットダウンしてください。コンピュータの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

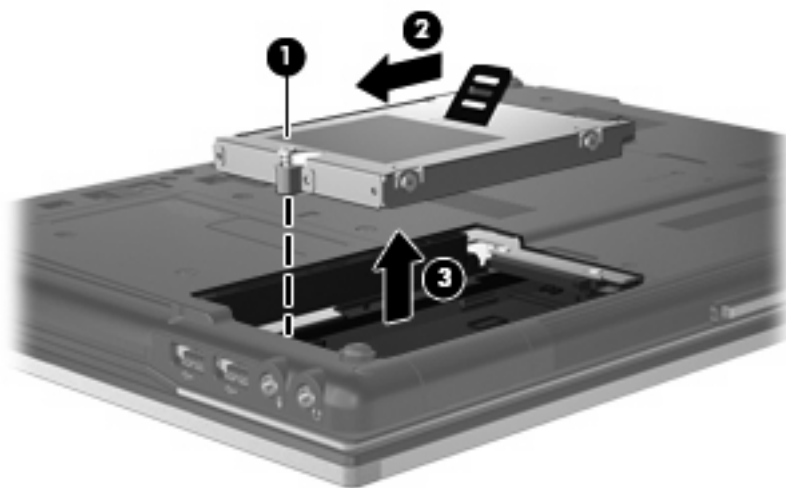
コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。次に、オペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ハードドライブを取り外すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピュータをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピュータに接続されている外付けハードウェア デバイスをすべて取り外します。
4. 電源コンセントおよびコンピュータから電源コードを抜きます。
5. コンピュータのハードドライブ ベイが手前を向くようにしてコンピュータを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. コンピュータからバッテリを取り外します。
7. ハードドライブ カバーの 2 つのネジ（**1**）を緩めます。

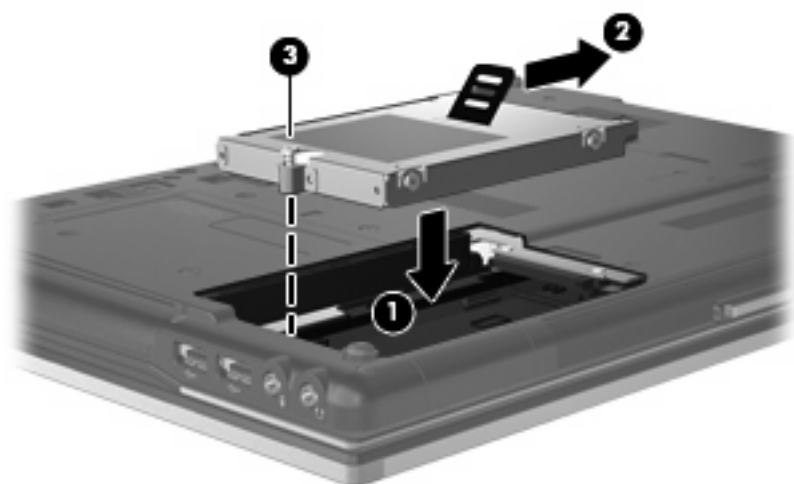
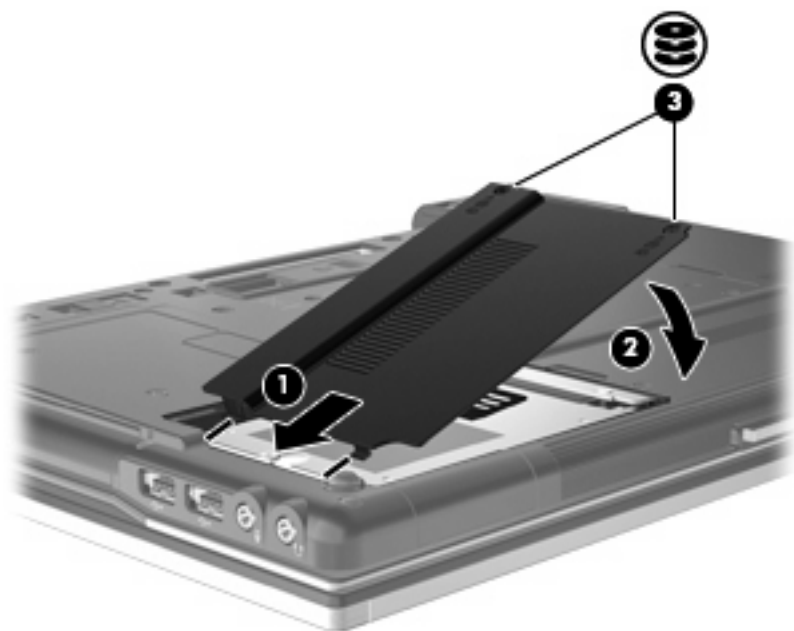
8. ハードドライブ カバーを持ち上げて、コンピュータから取り外します（**2**）。

9. ハードドライブのネジ（**1**）を緩めます。

10. ハードドライブ タブを左方向に引いて（**2**）、ハードドライブの固定を解除します。

11. ハードドライブを持ち上げて（**3**）、ハードドライブ ベイから取り外します。

ハードドライブを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入します（**1**）。

2. ハードドライブ タブを右方向に引いて（**2**）、ハードドライブを固定します。

3. ハードドライブのネジ（**3**）を締めます。

4. ハードドライブカバーのタブを、コンピュータのくぼみに合わせます（**1**）。
5. カバーを元に戻します（**2**）。
6. ハードドライブ カバーのネジ（**3**）を締めます。

9 アップグレード ベイ内のドライブの交換

アップグレード ベイには、ハードドライブまたはオプティカル ドライブのどちらかを格納できます。

ハードドライブの交換

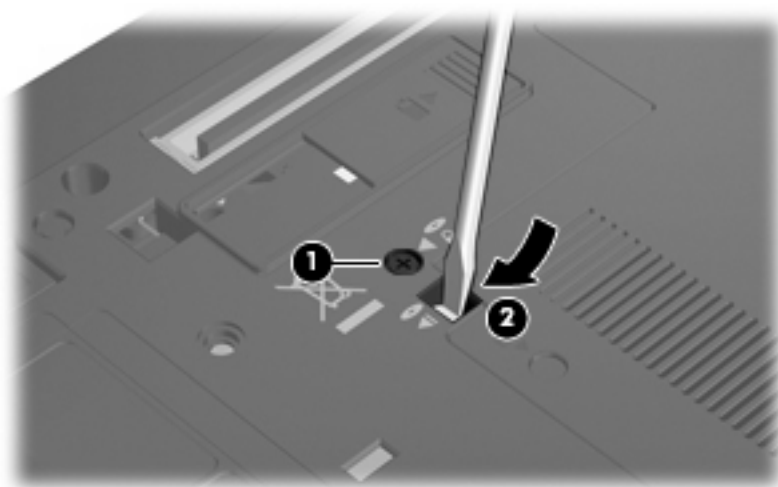
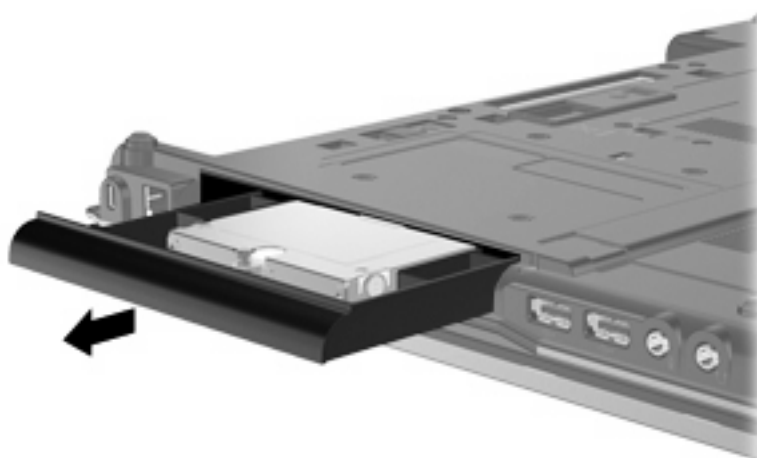
△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐために、以下の点に注意してください。

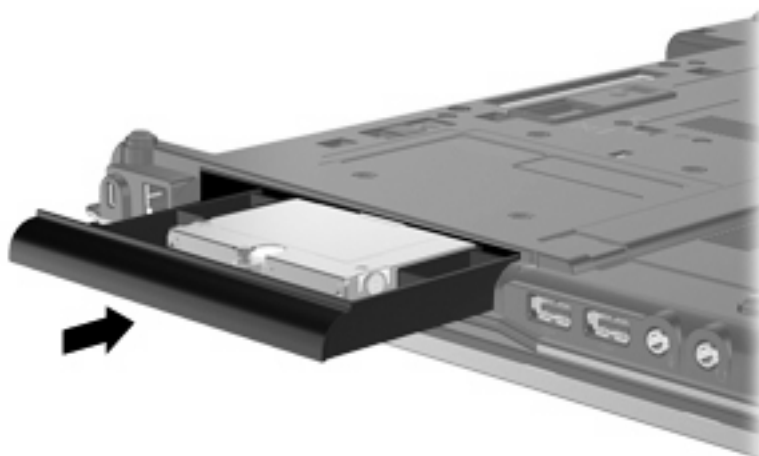
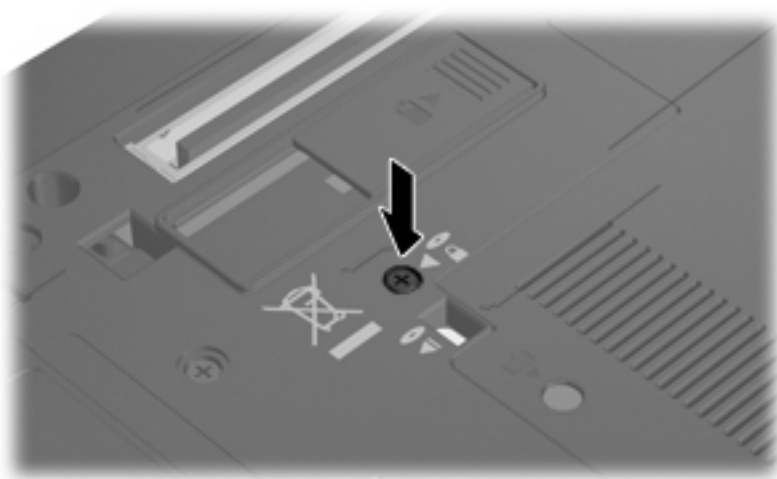
アップグレード ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピュータをシャットダウンしてください。コンピュータの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーションの状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ハードドライブをアップグレード ベイから取り出すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピュータをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピュータに接続されている外付けハードウェア デバイスをすべて取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピュータの電源コネクタから AC アダプタを取り外します。
5. アップグレード ベイが手前を向くようにしてコンピュータを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリをコンピュータから取り外します。
7. アップグレード ベイのネジ（**1**）を緩めます。

8. マイナスのネジ回しを使用して、つまみをそっと押し込んでハードドライブの固定を解除します（**2**）。

9. ハードドライブをアップグレード ベイから取り出します。

アップグレード ベイにハードドライブを装着するには、以下の操作を行います。

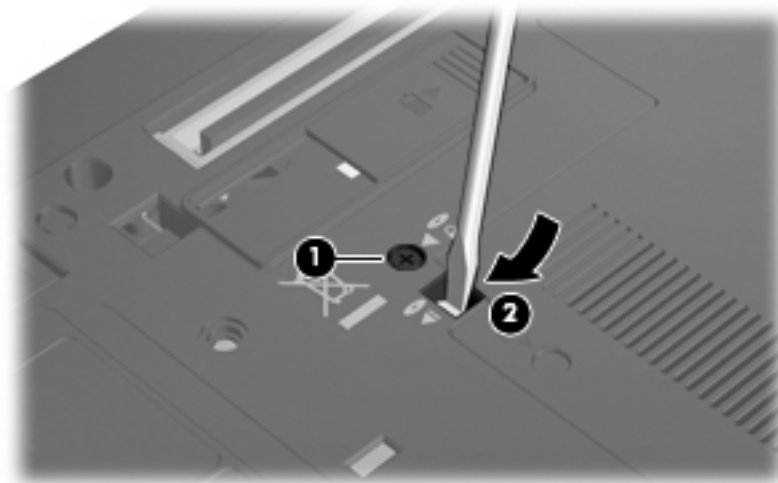
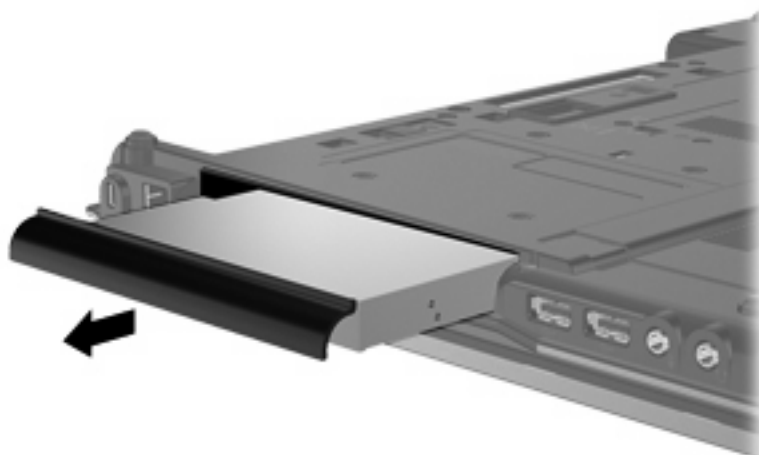
1. アップグレード ベイにハードドライブを挿入します。

2. アップグレード ベイのネジを締めます。

オプティカル ドライブの交換

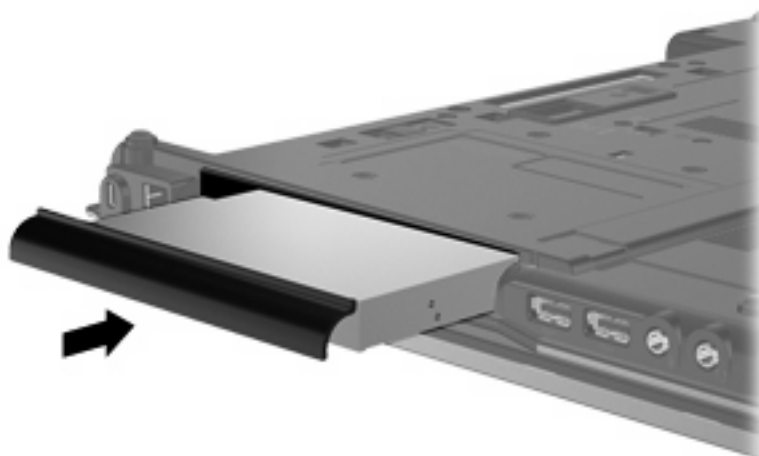
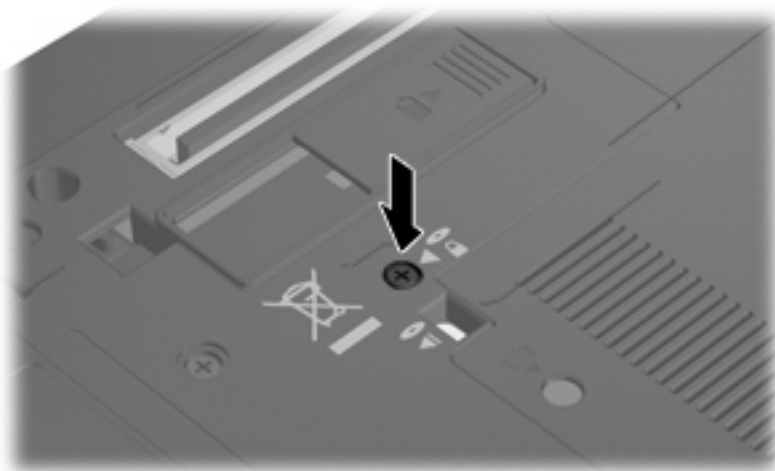
△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐために、以下の点に注意してください。

アップグレード ベイからオプティカル ドライブを取り外す前に、コンピュータをシャットダウンしてください。コンピュータの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、オプティカル ドライブを取り外さないでください。

コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

オプティカル ドライブをアップグレード ベイから取り出すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピュータをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピュータに接続されている外付けハードウェア デバイスをすべて取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピュータの電源コネクタから AC アダプタを取り外します。
5. アップグレード ベイが手前を向くようにしてコンピュータを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリをコンピュータから取り外します。
7. アップグレード ベイのネジ（**1**）を緩めます。
8. マイナスのネジ回しを使用して、つまみをそっと押し込んでオプティカル ドライブの固定を解除します（**2**）。

9. オプティカル ドライブをアップグレード ベイから取り外します。

オプティカル ドライブをアップグレード ベイに装着するには、以下の操作を行います。

1. オプティカル ドライブをアップグレード ベイに挿入します。

2. アップグレード ベイのネジを締めます。

10 トラブルシューティング

コンピュータがオプティカル ドライブを検出しない場合

コンピュータがオプティカル ドライブを検出しない場合は、[デバイス マネージャー]を使用してデバイスの問題を解決し、デバイス ドライバを更新、アンインストール、またはロール バックします。

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]**の順に選択します。次に、**[システム]**領域で**[デバイス マネージャー]**をクリックします。
3. [デバイス マネージャー]ウィンドウで、**[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横の矢印をクリックして一覧を展開し、取り付けられているすべてのドライブを表示します。オプティカル ドライブの一覧を確認します。
4. 表示されているオプティカル ドライブを右クリックすると、以下のタスクを実行できます。
   - ドライバ ソフトウェアの更新
   - 無効化
   - アンインストール
   - ハードウェアの変更をスキャンする。Windows はシステムをスキャンして取り付けられているハードウェアを検出し、すべてのハードウェアに対して必要なドライバをインストールします。
   - **[プロパティ]**をクリックして、デバイスが正しく動作しているかどうかを確認します。その後、状況に応じて以下の操作を行います。
     - 問題の解決方法に役立つ、デバイスについての詳細情報を**[プロパティ]**ウィンドウで確認します。
     - デバイスのドライバの更新、ロールバック、無効化、またはアンインストールを行うには、**[ドライバー]**タブをクリックします。

新しいデバイス ドライバが必要な場合

Microsoft®デバイス ドライバの入手

[Windows Update]を使用すると、最新の Windows デバイス ドライバを入手できます。この機能は、ハードウェア ドライバ、Microsoft のオペレーティング システム、およびその他の Microsoft 製品に関する更新を自動的に確認し、インストールするように設定できます。

[Windows Update]を使用するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[Windows Update]**の順にクリックします。

   注記： [Windows Update]がまだ設定されていない場合は、更新チェックの前に設定を入力するよう求めるメッセージが表示されます。

2. **[更新プログラムの確認]**をクリックします。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

HP デバイス ドライバの入手

HP の Web サイトを使用して HP デバイス ドライバを入手するには、以下の操作を行います。

1. インターネット ブラウザを開き、http://www.hp.com/support/を表示します。
2. 国または地域を選択します。
3. [ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピュータの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力します。
4. enter キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

オプティカル ディスクが再生されない場合

1. **[スタート]→[既定のプログラム]→[自動再生の設定の変更]**の順にクリックします。
2. **[すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う]**チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. **[保存]**をクリックします。

これで、CD または DVD をオプティカル ドライブに挿入したときに自動的に再生されます。

ディスクへの書き込み処理が行われない、または完了する前に終了してしまう場合

- 他のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- スリープ モードおよびハイバネーションを無効にします。
- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。ディスクの種類について詳しくは、ディスクに付属の説明書を参照してください。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。
- より低速の書き込み速度を選択し、再試行します。
- ディスクをコピーしている場合は、コピー元のディスクのコンテンツを新しいディスクに書き込む前に、その情報をハードドライブへコピーし、ハードドライブから書き込みます。
- [デバイス マネージャー]の[DVD/CD-ROM ドライブ]カテゴリにあるディスク書き込みデバイスのドライバを再インストールします。

DVD を[Windows Media Player]で再生したときに音や画面が出ない場合

コンピュータにプリインストールされている[WinDVD]を使用して、DVD を再生してください。

索引